

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も新規の催事や食料品フロアの改装効果で、売上や来客数は前年比で2けた増となっている。
	○	百貨店（売場主任）	販売量の動き	・6月も外部環境の変化による追い風が吹き、29日までで全店の売上が前年比で7.9%増、来客数が3.1%増と好調である。ただし、これらの大部分は、外部環境の変化による来客数の増加と、値上げの影響による単価上昇に支えられている。
	○	百貨店（企画担当）	単価の動き	・販売品目に限らず、価格の上昇傾向が顕著であり、値上げが表面上の売上増加につながっている。
	○	百貨店（広報担当）	販売量の動き	・複数回の台風の影響を除いて、都心店がおおむね好調となった。国内客の売上が前年比で約1割増となり、免税売上も約3割増となるなど、売上の底上げに寄与している。中国からのインバウンドは依然厳しい状況であるが、中国を含む海外からの富裕層の動きが、円安の影響などで大きく伸びたほか、気温の上昇や梅雨入りによって初夏のファッション商材も順調に動いている。
	○	百貨店（売場マネージャー）	販売量の動き	・インバウンドだけでなく、国内客の動きも改善傾向にある。不透明な経済環境ではあるものの、消費の活性化が見受けられる。
	○	百貨店（商品担当）	お客様の様子	・来客数、販売量共に、動きが良い。
	○	百貨店（売場統括）	お客様の様子	・外商を中心とした富裕層の消費は、好調に推移している。さらに、免税売上も中国への依存を脱し、欧米や東南アジアのシェアが拡大した結果、前年比で60%増と大幅に増えている。また、国内の現金客も、年明け以降は売上が2%増と前年を上回っている。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・夏の繁忙期が始まるため、期待している。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・中国系のキャッシュレス決済の利用が当地域を中心に増えており、インバウンドの増加による影響がみられる。
	○	コンビニ（店員）	販売量の動き	・店内の厨房で製造し、販売しているバター餅がSNSで大きな話題となり、販売量が3倍となった。それに伴う他商品の購入もみられる。
	○	衣料品専門店（店員）	単価の動き	・物価の上昇が続くなか、単価の低い商品やセール品に動きがみられる。
	○	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・省エネ補助金がスタートし、客からの引き合いが多いため、販売量が多くなっている。
	○	その他飲食〔洋菓子〕（管理担当）	来客数の動き	・駅周辺の工事の影響が一巡し、売上は前年の水準を徐々に上回り始めており、直近も安定した推移がみられる。猛暑であった前年と比較して、体感的に涼しい点も好調の要因となっている。
	○	旅行代理店（役員）	お客様の様子	・これまで動かなかった国内旅行の申込みが、夏休みを中心に動き出している。ただし客の2極化は顕著であり、株価上昇の影響で旅行を申し込んだ客が複数みられる一方、海外旅行に毎年行っていたが、今年は円安の影響もあって国内旅行に変更するという客もみられる。
	○	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕（企画担当）	来客数の動き	・前年は大阪・関西万博に多くの客が流れていたが、今年はその反動増がみられる。ただし、中国からの個人のインバウンドは大きく減少しているほか、値上げた鉄道乗車券付きの企画商品は売上が落ちているなど、価格の上昇に敏感な面もみられる。
□	一般小売店〔時計〕（経営者）	販売量の動き	・来客数、売上共に、今月は安定した数字を残せた。日によっては来客数がゼロの日もあり、多少の懸念はあったものの、結果的に他の日でカバーすることができた。腕時計の需要は厳しいなど、客の動きに偏りはあるが、全体としては良い月となっている。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔化粧品〕（経営者）	販売量の動き	・2度の台風の接近により、店舗の営業時間が減って苦戦している。台風の影響を除けば、おおむね前年並みの売上であり、フレグランランスを中心としたギフト関連が伸びたほか、個人間のプレゼントや父の日のギフトなどが活発に動いた。また、高級ブランド品の売上が10%増え、全体の押し上げ要因となったものの、海外ブランドのスキンケア商材の不調が続く、ラグジュアリー関連の好調と相殺されている。来客数は95%と振るわなかったものの、客単価が105%と伸びている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・相変わらず価格には敏感であり、高額品は売れにくい。価格が下がっている商品は購入対象となる一方、高額な商品は手に取ってもらえない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔雑貨〕（店長）	お客様の様子	・中東情勢のこう着状態が続いている。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔呉服〕（店員）	来客数の動き	・高級品である呉服を扱っているため、売上は上向かない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔菓子〕（営業担当）	お客様の様子	・ナフサ不足の影響で各社の値上げが続いているが、商品価格に転換できないまま、時間が過ぎている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・免税売上では、中国からのインバウンドの売上が前年をやや下回っているものの、中国以外の売上が約40%増となっているため、全体としても前年を10%程度上回っている。国内売上についても、直近の大雨の影響は若干あるが、外商、それ以外共に、前年を上回る傾向となっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販促担当）	販売量の動き	・夏物ファッションの動きは前月よりも少し鈍化しているが、前年を上回る動きが続いている。今夏も暑さが長引く予想であり、夏物商材の購入に抵抗感はない。特に、機能商材などは価格よりも機能優先で選択されるケースが多い。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	単価の動き	・来客数が前年比で増加しているものの、周辺環境による影響も大きい。客単価は横ばいか、やや下向きであるため、明らかな景気の改善はまだみられない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業推進担当）	単価の動き	・来客数は増加し、買上客数も前年を上回っているが、衣料品の売上は前年を下回っており、比較的単価の低い雑貨に需要がシフトしている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・特に目立った変化はないが、久しぶりに来店する客がみられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売推進担当）	お客様の様子	・株価の高騰もあり、高額品を中心に売上はおおむね堅調に推移しているが、2度の台風通過の影響で、何とか前年の実績を確保する水準にとどまる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・全体的な景況感はず変わらず、富裕層向けの特別催事などでは、宝飾や美術等、資産価値のある商材が人気で好調を維持している。一方、前年ほど気温が上がらないなか、国内の中間層は衣料品を中心とした季節商材の買い控えが目立つ。また、食料品も単価上昇の影響で買上点数は減少しているが、選択消費が目立つなかで、売上は維持している。インバウンド需要は地域的な好調もあって大幅に増え、特選品などの一般品を中心に客単価が2倍になった影響で、売上全体の押し上げにつながっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・前年の大阪・関西万博の反動で、来客数は前年を上回って推移している。インバウンドも中国からの観光客が前年比で30%減少しているが、その他の国からの増加で補っており、トータルで前年を上回っている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（商品担当）	来客数の動き	・インバウンドの売上は好調であるが、国内客は横ばいである。気温が上がりきらず、夏物衣料の動きが鈍いなか、セール待ちの状態となっている。食品は好調であるものの、中東情勢によるナフサ価格の高騰で、生活防衛意識が強まっている。ただし、期間限定の催事など、今しか買えない物は好調となるなど、催事や物産展は堅調に推移している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	お客様の様子	・商品の値上げや燃料価格の高騰で、消費が落ち込んでいる。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	お客様の様子	・来客数に対して買上点数が少なく、特売品の購買率も高いため、複数店舗での買い回りの動きが想定される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・衣料品について、5月は気温、天候共に良い条件であったため、6月にその反動が出ている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	お客様の様子	・客の割引品以外への購買意欲がなくなっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	単価の動き	・月の前半は天候も安定していたため、野菜の価格も下がり、販売の増加につながっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数は横ばいであり、売上も安定している。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	販売量の動き	・前年は米の特需で販売数量、販売額共に大きく伸び、利益の確保につながったが、今年はそれほど売れていない。ただし、低価格での安定販売が可能となってきたため、若干の回復傾向にある。また、前年は梅雨が短く、安定した売上となっていたが、今年は天候も不安定で、来客数の減少につながっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	単価の動き	・インバウンドがやや減少しているものの、客単価は商品価格の値上げ効果で上昇しているため、売上はほぼ変わっていない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・プレミアム付商品券が販売されるようになり、来客数が5%ほど増え、販売増加につながっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	単価の動き	・物価上昇の影響が出ている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べて、来客数、客単価共にほぼ横ばいとなっている。前年比では来客数が減少しているものの、客単価は少し上向いているため、売上全体は横ばいとなっている。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	販売量の動き	・エアコンの駆け込み購入の動きが、一旦落ち着いている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（マネージャー）	来客数の動き	・3か月前と比べて、目立った改善はない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売量は少し上向いてきたが、来場者数は減少傾向にある。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・今月は新車の販売台数や売上、利益が苦戦しており、目標比、前年比共にマイナスとなる見込みである。新型モデル発売前の時期であるが、1～6月の累計販売台数は過去5年間で最も厳しい水準である。商品の売れ筋が偏っているほか、客の価格に対する厳しさが増しており、中古車に需要が流れている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業企画）	お客様の様子	・世の中の変化が目まぐるしく、不安定な状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（店員）	お客様の様子	・来客数は増えているが、客単価が上がらなくなっているため、大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店【ドラッグストア】（店員）	お客様の様子	・天候の影響で、来客数がやや落ち込んでいる。交通ルールが変更になり、雨の日に自転車に乗ることが難しくなったため、客足が遠のいている。また、物価の上昇が続いているため、給料が増えても家計の収支には変化がない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店【医薬品】（管理担当）	販売量の動き	・UV関連や制汗剤などを中心に、化粧品や化粧雑貨は順調に動いている一方、日用雑貨や食品などの生活必需品は、値上げや天候不順の影響で減少となった。しかし、医薬品や健康食品、衛生用品などに大きな変化はみられない。3か月前と比べて客単価が上昇するなか、天候要因で来客数は伸び悩んだものの、買上点数は横ばいで推移している。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・天候不順の影響もあり、予約で満席になる日が少ない。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	販売量の動き	・売上を前年比で見ると、3か月前より3%程度減少しているが、天候不順の影響であり、景気に大きな変化はない。

□	その他飲食〔自動販売機（飲料）〕（管理担当）	単価の動き	・食品や日用品の値上げが続くなか、お茶やコーヒーの値上げの動きが目立っている。
□	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・予約状況は例年どおりであるが、単価の高い客が少ない。
□	都市型ホテル（管理担当）	お客様の様子	・客の購買の様子が、特に上向いているわけではない。
□	旅行代理店（役員）	販売量の動き	・夏休みの需要が動き出す時期であるが、販売量の減少傾向が続いている。一方、旅行の平均単価は上昇しているため、旅行に出掛ける層とそうでない層との2極化が目立っている。
□	通信会社〔貴金属オークション〕（経営者）	単価の動き	・中東情勢が少し落ち着いてきたが、依然として貴金属相場は不安定であるため、引き続き回復基調とは判断できない。
□	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・園内に新たな施設が複数オープンしているにもかかわらず、来場者数が事前予測を大きく下回っている。
□	遊園地（経営者）	お客様の様子	・燃料価格などの上昇が改善する状況にはなく、レジャー事業への追い風は吹いていない。
□	競輪場（職員）	単価の動き	・3か月前の客単価は8126円であったが、今月の客単価は8438円に上昇している。
□	競艇場（職員）	販売量の動き	・前月よりも売上の伸び率は縮小しているが、Web投票の売上が拡大し、前年比で3%前後の伸びとなっている。一方、単価は大きく変わっていないほか、各拠点のレース場や場外発売場での売上は前年を下回る見込みである。
□	住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・建築関係の資材や設備価格の改定の通知が止まらない一方、価格転嫁ができない状況となっている。
□	その他住宅〔展示場〕（従業員）	販売量の動き	・運営する住宅展示場全体の成約数は、3か月前とほぼ同水準で推移している。
□	その他住宅〔住宅設備〕（営業担当）	販売量の動き	・エレベーター改修工事の件数は好調に推移しているが、新規工事は首都圏だけが好調で、関西は低迷したままである。
□	その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・販売用不動産については、実需向けマンション、戸建て住宅共に、価格や金利の上昇で動きは鈍い。富裕層向けの高額物件についても、一部を除いて、以前よりも動きに弱さがみられる。
▲	商店街（経営者）	単価の動き	・物価上昇の影響が出ている。
▲	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	来客数の動き	・国内客の消費マインドが冷え込んでいるほか、梅雨の影響でインバウンドの来客数も減っている。
▲	一般小売店〔衣服〕（経営者）	来客数の動き	・少しずつ来客数が減っているほか、来店しても必要な物しか買わず、客単価が下がっている。
▲	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	来客数の動き	・来客数は依然として減少傾向にあるが、これが世間一般のトレンドなのか、業界特有のトレンドなのかは不明である。
▲	百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・直近の3か月は、店頭売上が目標を下回る動きが続いている。特に、ファッションや雑貨関連の売上が不振となっている。
▲	百貨店（宣伝担当）	お客様の様子	・ボーナスの支給後にもかかわらず、客の財布のひもが固い。客単価は価格改定の影響で上がっているが、来客数が減っているため、売上が落ちている。インバウンドも買上額が減少しており、買物を控えて、飲食やホテル料金に回している。
▲	スーパー（経理担当）	販売量の動き	・前年の梅雨は雨が少なかったのに対し、今年は雨のほか台風も多い。雨による直接的な影響も大きい。天候が回復後の反動による需要も、節約志向の影響で限定的となるなど、売上への打撃が大きい。
▲	スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・来客数の前年比が微減傾向となっている。コストアップ型の単価上昇で売上の前年比は上向いているが、競合先による関西への参入が加速し、客を取り合う様相になっている。販売量にも低下傾向がみられるなど、苦戦している。

▲	スーパー（企画）	来客数の動き	・3か月前と比べて、最近は来客数が増加傾向にあったが、今月は前年並みに鈍化している。台風などの気候要因もあるが、米の価格低下などもあり、売上が伸び悩んでいる。
▲	スーパー（社員）	単価の動き	・数年間にわたるメーカーの価格改定や仕入原価の上昇により、店頭価格の上昇が続いている。その結果、客の買い控えや来店回数の減少が続いており、売上は伸び悩んでいる。
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・自動販売機の売上は2割程度減っている。
▲	コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年は大阪・関西万博の開催でインバウンドが多かったため、その反動が出ている。
▲	コンビニ（店員）	来客数の動き	・インバウンドが少し減っている。
▲	コンビニ（店員）	販売量の動き	・物価の上昇により、店内製造の弁当類やおにぎりの廃棄が目立ち、売上も落ちている。
▲	コンビニ（店員）	来客数の動き	・昼間の客は少し減少傾向にあるが、夕方からの時間帯は来客数も相変わらず多く、客単価も高い。
▲	家電量販店（店員）	来客数の動き	・生活に必要な最低限の購入はみられるが、その他の商品、特に高額商品の販売は厳しく、基礎的な商品に需要がシフトする傾向にある。補助金制度を実施している市町村もあるが、来客数に大きな動きはみられない。
▲	家電量販店（人事担当）	販売量の動き	・前月までは、新たな省エネ基準の導入について、ニュースなどで取り上げられ、例年よりもエアコンの販売が大きく伸びていたが、メディアでの報道が落ち着くと、販売量が激減している。
▲	家電量販店（営業担当）	それ以外	・ナフサ不足の影響が出始めている。客が相談していた工務店が倒産し、案件の延期につながっている。
▲	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量は伸びていない。株価は上がっているが、販売現場では余り実感がない。
▲	住関連専門店（店長）	それ以外	・ナフサや原材料の不足で、消耗品なども品薄状態となっている。仮に買えたとしても、かなり値上がりしているため、経費が圧迫されつつある。
▲	その他専門店 [食品]（経営者）	販売量の動き	・販売数量が徐々に落ちており、売上も前年を下回る傾向にある。
▲	その他専門店 [ガソリンスタンド]（経理担当）	それ以外	・ガソリンの出荷量は前年比で微増の動きが続いている。ガソリンについては、石油元売りからの仕入れに支障はない一方、重油などは品薄状態が続く、入手が難しくなっている。ボイラーの燃料を重油から灯油に代えて、工場の操業を続けるケースもみられる。また、ナフサ関連も品不足となっている。
▲	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	販売量の動き	・新しいカタログを発刊しても、それほど受注が増えていない。
▲	その他小売 [ネット通販]（管理担当）	お客様の様子	・客単価は物価上昇の影響で維持できているが、購入量は3か月前と比べて確実に減少している。
▲	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・直営店のカフェや卸売での販売数量が低迷している。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・全体的に来客数が激減しており、昼食代を節約するために、弁当を持参する動きや在宅勤務が増えている。また、夜の時間帯は、会社帰りに外食をする数人での利用が激減している。会社の経費による大口の宴会や、中規模の食事会需要の影響で、経営は何とか維持できているが、ボーナスの支給時期ではあるものの景気の冷え込みがみられる。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は台風の影響で雨の日が多く、来客数が減少した。さらに、自転車関連の規制が厳しくなり、少量の雨の日でも来客数が減少している。
▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・当グループを含む周辺施設では、来客状況や予約状況、販売実績が落ち込んでいる。

▲	都市型ホテル (客室担当)	販売量の動き	・稼働率の低下が顕著となっている。	
▲	都市型ホテル (客室担当)	単価の動き	・旅行会社経由の先行予約が減少し、Web予約の取り込みも鈍いなど、苦戦している。また朝食付きの宿泊需要も減少しており、テーマパークの利用客にも宿泊費用を抑える傾向が見受けられる。	
▲	都市型ホテル (フロント)	来客数の動き	・例年6月はインバウンドの動きが弱く、今年も同様に苦戦しているほか、国内客の動きも鈍化している。	
▲	都市型ホテル (客室担当)	来客数の動き	・中東情勢のこう着した状態が響いている。	
▲	旅行代理店(支 店長)	販売量の動き	・物価の上昇や燃油サーチャージの高騰のほか、国内旅行では熊の出没による影響が出ている。	
▲	通信会社(経営 者)	お客様の様子	・石油関連製品の入荷の遅れに加え、売上の減少や、材料費の上昇で利益が圧迫されている。	
▲	通信会社(営業 担当)	単価の動き	・A I関連の需要により、サービスに必要な機器の価格が高騰している。サービス価格を上げていないため、その分、利益率が下がっている。	
▲	美容室(店長)	来客数の動き	・今月は天候要因の影響を大きく受け、来客数が大きく減少している。	
▲	美容室(店員)	来客数の動き	・来店周期が伸びている。	
▲	その他サービス [学習塾](ス タッフ)	お客様の様子	・退会者の数が入会者を上回っている。	
▲	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・新築分譲マンションは、富裕層向けの高額物件は好調であるが、金利上昇に伴う市況の先行き不安や価格の上昇により、これまで市場をけん引していたパワーカップルの購入が減少傾向となっている。	
▲	その他住宅投資 の動向を把握で きる者[不動産 仲介](経営 者)	それ以外	・今後の中東情勢の行方が不透明である。	
×	一般小売店[ガ ラス細工](店 長)	それ以外	・伝統工芸品の製造と販売を行っているが、工芸品の製造に欠かせない燃料の供給が滞っており、製造ができない状況にある。	
×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・6月に入ってから、4～5月よりも来客数が3～4割減少している。購入額も少し減少している。	
×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・物価の上昇による影響が深刻である。	
×	家電量販店(店 員)	単価の動き	・商品価格や工事費用の上昇で、1件あたりの販売価格が上がっている。それに伴い、客の対応が買換えと修理に分かれている。前年よりも販売台数が減少傾向にあるのは、買い控えが増えている結果とみられる。	
×	家電量販店(企 画担当)	来客数の動き	・新たな省エネ基準の導入に関する報道や、SNSの影響により、来客数が激減している。	
×	その他専門店 [宝飾品](販 売担当)	来客数の動き	・インバウンドを含む人の流れは多いが、催事での集客数や通常の来客数は、低迷したまま増えていない。	
×	観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・6月はコロナ禍の時期を除いて、過去10年間で来客数、販売量共に、最も悪い結果となった。前年の大阪・関西万博の反動や、サッカーワールドカップの開催もマイナス要因とみられるが、台風7号、8号の接近による団体客のキャンセルも追い打ちとなっている。	
×	タクシー運転手	単価の動き	・夜間のタクシー利用者が激減している。スマートフォンでのアプリ配車、流し営業共に、夜間の利用が減っているということは、各種店舗も景気が悪いはずである。	
×	通信会社(社 員)	販売量の動き	・需要の閑散期であるほか、契約の移行の動きがなくなった影響も大きい。	
×	通信会社(役 員)	販売量の動き	・携帯電話の販売では、前年度の3G停波による買換え特需の反動で、販売台数が前年比で減少している。	
企業	◎	*	*	*

動向 関連 (近畿)	<input type="radio"/>	食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量 の動き	・中東情勢も少し落ち着き、資材が予定どおり入荷するようになったため、製造も予定どおりに進みつつある。
	<input type="radio"/>	化学工業(管理 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・コスト上昇に伴う、販売価格への転嫁が進んでいる。
	<input type="radio"/>	金属製品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・大きな変化はないが、市場に明るさが出てきたため、新規の引き合いがみられる。
	<input type="radio"/>	金属製品製造業 (製造担当)	受注量や販売量 の動き	・注文はやや増えたが、以前と比べるとまだまだであり、月末に近づくにつれて減少の動きもみられる。
	<input type="checkbox"/>	食料品製造業 (管理担当)	受注量や販売量 の動き	・売上の前年割れが続いている。
	<input type="checkbox"/>	繊維工業(総務 担当)	受注価格や販売 価格の動き	・物価の上昇が消費者心理を悪化させ、購入にブレーキが掛かっているため、消費税率の引下げに期待している。
	<input type="checkbox"/>	パルプ・紙・紙 加工品製造業 (経営者)	受注量や販売量 の動き	・月末が近づくと、在庫調整を行う取引先が多い。
	<input type="checkbox"/>	化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・ナフサ不足に伴う、大幅な値上げの影響がどの程度出るかは見通せないが、今のところはまだ落ち着いている。
	<input type="checkbox"/>	化学工業(製造 担当)	受注量や販売量 の動き	・受注量に変化はみられない。
	<input type="checkbox"/>	電気機械器具製 造業(宣伝担 当)	受注量や販売量 の動き	・店頭でのエアコンの荷動きが前年を大きく下回り、冷蔵庫や全自動洗濯機などの大型家電も同様に、前年割れの状況となっている。
	<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具 製造業(役員)	取引先の様子	・電気自動車の組立ラインなどの大型案件が中止となったほか、自動車樹脂部品の生産ラインの設備投資も再検討となるなど、中止や延期の動きが出ている。
	<input type="checkbox"/>	建設業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・問合せや受注には変化がみられない。不動産価格の高騰が要因かもしれないが、以前はコストが合わず断念していた取引先が、それでも実施する状況となっている。
	<input type="checkbox"/>	建設業(経営 者)	取引先の様子	・中東情勢の先がみえず、建設資材価格の高騰や納期の不安定化などの悪影響が続いている。特に資材の納期が不安定となり、竣工が間に合わない作業所も出そうである。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(経営 者)	取引先の様子	・荷物の量や配達件数に大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(サービ ス担当)	受注量や販売量 の動き	・営業収入は前年並みで、大きな変化はない。
	<input type="checkbox"/>	輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・家電の売行きが落ち込んでいるほか、商品の納期も遅れている。
	<input type="checkbox"/>	金融業[投資運 用業](代表)	それ以外	・あらゆる商品価格の上昇に歯止めがかからない。原価の高騰分が販売価格に転嫁されており、購買意欲も減退している。さらに、中東情勢が芳しくないなか、本来は値上げの対象にならない商品まで値上げが進んでいるため、雰囲気が悪い。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・4月以降は、交通広告の出稿が前年よりも減少している。5月はやや改善したものの、6月はまた前年を下回っている。
	<input type="checkbox"/>	経営コンサル タート	取引先の様子	・小売業の取引先をみると、コロナ禍の時期に準備を進め、収束後にうまくインバウンドを取り込めている企業は、景気の波に乗れている。具体的には、コロナ禍の時期に外国人の雇用に備えて就業規則などを変更しておき、収束後には外国人従業員に店頭やSNSでの情報発信を任せ、インバウンドの取り込みに成功している。
	<input type="checkbox"/>	その他サービス 業[店舗開発] (従業員)	受注量や販売量 の動き	・直近数か月をみる限り、駅ナカ店舗の売上に増減はみられない。ただし、物販店と飲食店では違いがあり、飲食店は昼間に比べて、夜間の売上にやや陰りがみられる。軽く食事をして、短時間で帰るといった行動パターンが目立っている。

	□	その他サービス業 [受託調査] (調査担当)	取引先の様子	・円安により、仕入価格が前年比で10%から15%上がっている。その一方で、販売先の小売店からは価格の据置きを要請されているため、利益が圧迫されている。
	▲	繊維工業 (管理担当)	それ以外	・受注件数が前年を若干下回っている。
	▲	出版・印刷・同関連産業 (企画営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・物価の上昇で、関連会社からの値上げ要請が本格化しそうである。全てを販売価格に転嫁することは困難であり、利益面で厳しくなっている。
	▲	プラスチック製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・中東情勢の影響で、ナフサ関連製品の在庫確認や、価格の改定による駆け込み受注などが増えていたが、受注の動きは落ち着いてきている。
	▲	窯業・土石製品製造業 (管理担当)	取引先の様子	・物価上昇と円安の動きが続いているほか、中東情勢も進展はあったものの、依然として不透明感は拭えないなど、不確定要素が多い。
	▲	一般機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・景況感は3か月前と変わらないが、引き合い件数が減っており、業況は悪くなっている。
	▲	電気機械器具製造業 (経理担当)	受注量や販売量の動き	・AIサーバーの増設に伴う、半導体メモリ関係の急激な値上げや品不足に加え、中東情勢の影響による石油関連の原材料価格の上昇により、市場の動きがかなり悪くなっている。
	▲	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・物価の上昇や先行き不安から、延期や保留となる案件が目立っている。
	▲	金融業 [保険] (経営者)	取引先の様子	・仕入先や他店舗の情報では、販売数や売上が減少しているという話ばかりである。物価の上昇による個人消費の落ち込みが、1番の原因として考えられる。
	▲	金融業 (営業担当)	取引先の様子	・今月は取引先からの受注が減少している。繁忙期を過ぎた谷間の時期であり、来月頃からは受注の増加が見込まれる。
	▲	金融業 (営業担当)	取引先の様子	・円相場が1ドル160円を超えている。取引先に輸入企業が多く、仕入原価が採算に合わないケースが増えているため、業績への影響が危惧される。
	▲	不動産業 (営業担当)	競争相手の様子	・中東情勢の影響で、戸建て住宅の資材や建材の価格が上がり、必要な部品も入ってこないため、建築が進まない。そのため売却ができず、金利負担も増えるなど、業況は悪くなっている。
	▲	その他非製造業 [機械器具卸] (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・値上げの動きは落ち着いたと考えていたが、中東情勢の影響で石油関連商材が不足するなか、再び価格が上がっている。正常な販売活動が困難となるなど、状況は良くない。
	×	輸送用機械器具製造業 (経営者)	取引先の様子	・雨の日が多いため、販売店の来客数が減っている。さらに、食費等の支出の増加に終わりがみえないため、耐久消費財への支出が抑制されている。
	×	その他製造業 [履物] (団体職員)	受注量や販売量の動き	・市場での売行きが予想以上に悪く、コストの増加が経営を圧迫している。
	×	その他非製造業 [電気業] (営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・食料品の値上げの動きが止まらない。
雇用 関連	◎	—	—	—
	○	*	*	*
(近畿)	□	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・近年の動向としては、定型的な事務作業の求人が減少している。これからは、AIとの協働や人間ならではのヒューマンスキルが必要な仕事にシフトしていかなければ、雇用の喪失につながるおそれがある。
	□	人材派遣会社 (役員)	求人数の動き	・求人数は高止まりしているが、内訳としては、派遣が減少傾向である一方、直接雇用が増加傾向にある。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・求人の案件数が前年比で2割程度減少し、特に一般事務関係の減少が目立つ。AIの台頭により、事務職求人の構造的な減少につながっている。
	□	人材派遣会社 (管理担当)	求人数の動き	・一定数の求人はみられるが、中東情勢による売上の減少や費用の増加で、各社が人件費の削減に努めている。それに伴い、新規求人は伸び悩んでいる。
	□	人材派遣会社 (支店長)	求人数の動き	・一定の求人数はみられるが、採用に至るまでにかかなりの時間を要している。

□	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・新卒採用は長期的な計画に基づいて実施されているため、急激に変化することはない。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は横ばいで、新規求人数は微増となっているが、物価上昇の継続や、中東情勢による原材料価格の高騰の影響は続いているため、状況が良くなっているとは判断できない。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数、求職者数共に、前年と比べてやや増加している。3か月前と比べても、求人数は少し増えている。
□	職業安定所（職員）	求人数の動き	・今月は前年並みで推移しており、物価上昇の影響や商品不足などの声はあるが、今のところは景気への大きな変化はみられない。
□	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・事業所ごとの募集人数の増減はあるものの、求人を出す事業所数は総じて堅調な動きとなっている。労働集約的な側面がある医療福祉業界では、人手不足によるサービスの低下は避けたいものの、他業界と比べて実質賃金の上昇率が低いこともあり、人手不足が続いている。
□	その他雇用の動向を把握できる者	求人数の動き	・中東情勢の影響による原材料価格の高騰や調達難で、今後の見通しが立たないため、求人募集に慎重になる事業所がみられる一方、半導体関連を中心に求人意欲が高い事業所もみられる。
▲	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	それ以外	・3か月前と比べて円安傾向や物価上昇の動きが更に進んでいる。実質賃金の上昇など、問題の根本的な解決が進まない限り、緩やかに景気は悪くなっていく。
▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・物価上昇やナフサ問題などで、地元企業からのメディアへの広告出稿が控えられるなど、プロモーション予算の減少がみられる。
▲	職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較すると、求人数、求人企業数共に減少傾向にある。企業からも中東情勢などの不安要素が多いとの意見が多く、良い話が聞こえてこない。
▲	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・梅雨に入り、建設現場の動きが鈍っているため、求人数が減少している。
▲	民間職業紹介機関（営業担当）	求職者数の動き	・6月に入り、2028年卒業の新卒者の動きが悪くなっている。5月まではインターンシップの合同企業説明会への参加数が前年を上回るなど好調であったが、6月に入って一気に減少し、前年の6割程度に落ち込んでいる。各種サイトへの新卒者の登録数は伸びている一方、エントリー数は前年よりも減っているため、学生が既に業界を絞り込んでいる様子が見受けられる。
▲	民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・派遣市場の閑散期に入り、求人数の動きが鈍化している。派遣スタッフの不足もあり、景気はやや悪くなっている。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	雇用形態の様子	・物価が上昇している一方、雇用条件の改善が進んでいない。
▲	学校〔大学〕（就職担当）	それ以外	・為替が円安方向で推移しており、物価の上昇が続いている。中東情勢では停戦合意がまとまったが、完全な終息に向けた見通しは立っていない。
×	*	*	*